

日看協発第 562 号
令和 2 年 3 月 31 日

各都道府県看護協会長 様

公益社団法人 日本看護協会
会長 福井 トシ子



「新型コロナウイルス感染症の重症者が大幅に増えたときに備えた集中治療に携わる医療従事者の養成について（協力依頼）」について

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本会事業の推進に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。標記について、厚生労働省から本会に周知依頼がございましたので、ご連絡申し上げます。

3 月 27 日付で厚生労働省より日本看護協会宛てに「新型コロナウイルス感染症の重症者が大幅に増えたときに備えた集中治療に携わる医療従事者の養成について（協力依頼）」（別紙 1）が送付されました。

都道府県看護協会には看護職員を対象にした研修の開催や研修講師の紹介等、また、認定看護師等には医療機関や都道府県が開催する研修の講師としての役割が期待されています。つきましては、依頼があった際には、ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ】

公益社団法人日本看護協会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

常任理事 鎌田久美子

TEL : 080-4349-8192

健康政策部保健師課（担当：折見、沼田）

TEL : 03-5778-8844 / FAX : 03-5778-8478

E-mail : hokenshi@nurse.or.jp

別紙 1

事務連絡
令和 2 年 3 月 27 日

公益社団法人 日本看護協会 御中

厚生労働省新型コロナウイルス感染症
対策推進本部

新型コロナウイルス感染症の重症者が大幅に増えたときに備えた 集中治療に携わる医療従事者の養成について（協力依頼）

「新型コロナウイルス感染症の患者数が大幅に増えたときに備えた入院医療提供体制等の整備について（改訂）」（令和 2 年 3 月 26 日付け事務連絡）において、関係者と協議の上、地域の実情に応じたピーク時に備えた入院医療提供体制等の整備を早急に進めていただくよう、都道府県等に対し依頼したところである。

また、病院団体に対して、別添の通り、主に、これまで人工呼吸器管理を実施した経験のある医師、看護師、臨床工学技士に対して、個人感染防護具の着用方法やゾーニングに関する講習、ICU 等での On-the-Job-Training (OJT) 等を早急に実施していただくことを要請した。

同様に、ECMO を保有する医療機関においては、今後さらなる ECMO の活用が期待されることから、早急に ECMO に関する研修を行うことが期待される。その際に活用しうる研修プログラムについて、関係学会等に作成を依頼していることを申し添える。

都道府県看護協会には看護職員を対象にした研修の開催や研修講師の紹介等、また、認定看護師等には医療機関や都道府県が開催する研修の講師としての役割等が期待されていることから、貴会におかれては、当事務連絡の趣旨をご理解いただき、周知につきご協力いただきたい。